



2020 ORC 委員会 報告

ORC

World leader in Rating Technology

概況

皆様の ORC に対するご支援により、2019 年度は国内で50隻を超える艇に ORCI 及び ORCC のレーティング証書を発行いたしました。また、世界では 8700 隻の艇に対して 10000 を超える証書の発給が行われました。この数値は 世界で普及している 他のレーティングシステムの発行数を圧倒しています。

また 今年度はアメリカのニューヨークヨットクラブで ORC と IRC を使った世界選手権が開催されます。アメリカでの ORC の取得艇も これに合わせて増加しています。

国内では 座間味レース(外洋沖縄)、アリランレース(外洋玄海)、湘南レース等で ORC を採用頂いているレースがありました。今年度は パールレースで「ORC クラス」の創設の要望が 外洋湘南から出ており、今年度は これを実現ほしいと考えております。

ORCI 計測員養成セミナー

ORC 委員会としては、ORCI レベルの計測員を養成すべく 関東と関西の 2 か所で セミナーの開催を予定しております。関東では 3 月に入荷する船に合わせて その時期に 計測講習会を開催いたします。関西では 6 月に 西宮での実施を予定しております。これらは 計測員の養成と共に 各地での ORC 証書取得についての計測のお手伝いをして ORC の普及を 後押ししたいと考えております。

ORC スコアリング講習会

合同委員会会議では「ORC スコアラー」の講習も行う予定でおります。ORC スコアラーは ORC が作成した成績算出ソフトになります。ORC の特徴である 成績算出が 風の強さやコースで その評価を変えることができ ORC は このような成績算出を行える成績算出ソフトになります。もちろん タイムオンタイムや トリプルナンバーのように簡単に算出が来て、レース運営も簡便な方法から 参加者のレベルに合わせて 成績算出方法を変えることができます。これは 参加者により公平感のあるレースを 提供できることにもなります。

ORC FLEET STATISTICS - 2019

	1st QT		2nd QT		3rd QT		4th QT		30.09. 2019	
	Club	Int	Club	Int	Club	Int	Club	Int	Club	Int
AHO			23	0					23	0
ARG	21	13	45	4	0	2			66	19
AUS	2	15	23	48	24	69			49	132
AUT	22	7	27	7	10	2			59	16
BRA	0	25	0	11	0	14			0	50
BUL	4	1	38	6	20	4			62	11
CAN	15	2	13	1	5	0			33	3
CHN			8	0					8	0
CRO	84	10	46	33	19	2			149	45
CYP			20	5	11	0			31	5
DEN			37	13	0	3			37	16
ECU			0	26	0	1			0	27
ESP	382	397	200	207	114	186			696	790
EST			48	11	19	12			67	23
FIN	0	1	23	46	2	8			25	55
FRA	165	4	120	3	39	3			324	10
GBR	5	1	7	3	2	0			14	4
GER	1	3	441	145	50	37			492	185
GRE	129	30	357	67	85	25			571	122
HKG									0	0
HUN	2	0	21	0	10	2			33	2
ISR	45	1	9	0	8	0			62	1
ITA	493	235	410	322	58	46			961	603
JPN	22	1	23	2	2	0			47	3
KOR	1	0	28	0	4	0			33	0
LAT			2	2	3	1			5	3
LTU			13	6	32	0			45	6
MLT	2	1	3	2	2	0			7	3
MNE			3	0	1	0			4	0
MRI			10	0					10	0
NED	5	2	725	67	89	9			819	78
NOR	102		900	2	109	25			1111	27
PER	2	2	2	11	0	5			4	18
POL			21	30	31	31			52	61
POR	23	10	30	7	17	6			70	23
ROU	0	1	26	25	6	14			32	40
RSA	26	0	12	1	116	0			154	1
RUS	6	3	67	8	59	1			132	12
SLO	0	1	11	10	0	6			11	17
SUI	43	2	94	1	12	0			149	3
SWE	4	0	7	43	0	22			11	65
TUR	9	0	59	0	5	1			73	1
UKR	3	0	19	1	35	0			57	1
USA	97	30	88	36	30	15			215	81
	1715	798	4059	1212	1029	552	0	0	6803	2562
		2513		5271		1581		0		9365
ORCsy							135			135

9500

ORC ルール変更概要 Summary of the changes to the ORC Rules and Regulations

VPP 速度予測プログラム

▪ Hydrodynamics 流体力学

- キール摩擦抵抗の改定
- 抵抗の追加とマストの回転断面半径の調整
- 新しいデフォルトのギア重量とセール重量の計算

▪ Aerodynamics 空気力学

- ヘッドセル・セットフライングでの新しい取り扱い方法(同時に沢山のヘッドセールをセットする方法に対処した)



IMS-International Measurement System

- B 4.2 (a) (フリーボード計測)の修正は、燃料タンクは可能な限り空でなければならないことを明確にしている(推奨)。
- 可能でない場合は、前のルール・バージョンで要求されているように完全である必要はなく、その容量が必要です。ステムからの距離及び測定時の状態を記録すること。

- B 7.3 規則の修正では、ラダーストックのみを使用するカーボンラダーを定義しています。
(ラダーストックのみで判断する)
- F 3.4 の修正は、BAS を可能な限り高い値(例えばマストステップにプレートがついている場合)まで測定することを明確にしている。
- 新しい測定値 FSD がルール F 6.5 で導入されました。これは、これまで FSP として測定されていたが、測定値の二倍として入力されたヘッドセイルラフグループ装置の最大値です。この変更により、測定は記録されたとおりに行われ、以前の FSP 測定値は FSP を半分にして自動的に FSD に変換されます。
- ルール G 4.1 のヘッドセールの定義を修正し、ヘッドセールおよびスピニングカーの half width 計測値の誤解を避けます。
- Headsail set Flying の使用の定義は、3 つオプションを許可します。IMS Rule G 4.1 の更新。
下の様に分けて記録されます。
 - (1) Yes : フォアステーの前にタックを取り付ける。
 - (2) INNER : フォアステーとマストの間にタックを取り付ける。
 - (3) No : フォアステーに取り付ける。

ORC Rating System

- パフォーマンスボートのダイナミックアローワンスは、30 年を超えるシリーズ Date のボートにのみ適用されるように、規則 103.2 で修正。
- 新しいルール 108.7 と 108.8 の文言は、SPL と TPS のリグ測定に関連してルール 113.2 と 114.3 から移動した。
- Headsail set Flying の新しい最小定格面積は、Rule 111.3 に規定された。
- Headsails set Flying の新しい処理は、「タイトラフ」の定義を削除することにより、ルール 111.4 で定義されています。新しいルールでは、最初に Spinnaker として、次に Headsail set Flying として、0.75 から 0.85 の範囲の SHW/SFL を持つ非対称 Spinnakers のための VPP ランも追加され、最終結果としてより速い結果が使用されます。
- 新しいルール 115 は、113.3 から移動され、No Spinnaker 設定(対称的でも非対称的でもない Spinnaker を意味する)が適用されることが明確になりました。
- CDL9.801 以下のボートのために、レース中搭載出来るスピネーカーの数は、3 から 4 に増えます。Rule206. 1
- Rule208.2 (b) (ii)について、規則の意味を変更することなく、若干の明確化。
- Rule208.3 (c) は、VPP 計算に影響しないため、BAL 測定への参照を削除して修正されています。
- Rule208.4 (d) が修正され、ウイスキーポールは、RRS50.3(c)で定義されているようにマストとヘッドセイルクリューに取り付けられている場合に使用できることが明確になりました。

▪ルール 209.5 は、VPP 計算に影響を与えないため、BAL 測定への参照を削除して修正されています。

▪2019 規則から規則 208.3、208.4、208.6 が削除されます。これにより、ヘッドセールセット Flying のタックペナント長さの最小の要件がなくなり、2 つ以上のヘッドセールが同時にセットされている場合には、クリューの位置に関係なく複数のヘッドセール構成が可能になります。VPP を変更して対処した。

▪新しい ORC ダブルハンド証書は、新しい Rule301.3 で定義されています。

▪規則 303.4 への追加は、同じイベントでのすべてのボートは、同じ VPP 年バージョンの証明書を使用しなければならないことを明確にしている。

▪Rule 304.1 (c) (ii)の変更では、すべての Set Flying のヘッドセールと SHW/SFL<0.85 のすべての非対称スピネーカーが証書に記載されるという新しい要件が設定された。

▪規則 304.1 (c) (iii)の文言は、規則の意味を変更することなく訂正される。

▪新しい ORC Double Handed 証明書には、規則 403.2 および 403.3 に加えて、単純なスコアリングオプションが 2 つ定義されています。

GreenBook グリーンブック ORC Championship Rule

▪コンチネンタル・チャンピオンシップの形式が変更され、オフショア・レースは 2 日間、インショア・レースは 6 日間の 5 日間が含まれるようになった。

▪Standard Notice of Race では、複数レースの日を含む個々のレースの日に限り、当日ごとに異なるセールの数を使用できるように修正されています。

▪2019VPP に基づく ORC Championships でのクラス定義に関する新しい CDL の制限は次のとおりです。

クラス A : 11.590>=CDL>16.400

クラス B : 9.770>=CDL>11.590

クラス C : 8.560>=CDL>9.770

▪Standard Notice of Race および Standard Sailing Instructions は、2019 年に開催されたイベントの経験に基づいて、定期的なハウスキーピングの一環として更新されます。

ORCinternational および ORCclub 証書

▪FSP 測定が削除され、新しい FSD に置き換えられました。

▪SPS、BAL、BWT、CPW、フォアードアコモデーション、ジャンパーステイ、マストテーパーフォロー、No バックステイ、が廃止されました。(レーティングに影響しない)

▪インナーバラストの総重量がメジャメントインベントリーに追加される

ダブルハンド証書の発行

- a. ORC-i や ORCclub の証書と同時に 2 枚目の DoubleHand 証書を持てる。
- b. 体重は、120kg～300kg の範囲で申告可能。デフォルトは 170kg
- c. 通常の証書と同じ VPP を使って発行されます。このためフルクルーの艇と混走し同一クラスとして成績算出も可能。
- d. 通常の証書には、申告体重の範囲の限定は無い。(50kgでもデフォルトの2倍でもOK)ダブルハンドクラス/レースを設定する場合、通常のクラス/レースにショートハンドでの参加を認めない場合、等には、レース公示または帆走指示書で乗員数の制限をする必要があります。
- e. 通常の証書から他の計測値(セール、リグ、など)も変えられる。
- f. ダブルハンド独自の Predominant Upwind、Predominant Downwind が設定され DH 証書に記載される。

新しいセール区分

Headsail set Flying は下の様に区分されます。

- 1) Yes : フォアステーの前にタックを取り付ける。
- 2) INNER : フォアステーとマストの間にタックを取り付ける。
- 3) No : フォアステーに取り付ける。

Asymmetrical Spinnaker は、下の様に区分されます。

- 1) SHW/SFL<0.85 (1/2 幅がフット長さの 85%未満) Code0
- 2) SHW/SFL $\geq$ 0.85(1/2 幅がフット長さの 85%以上)

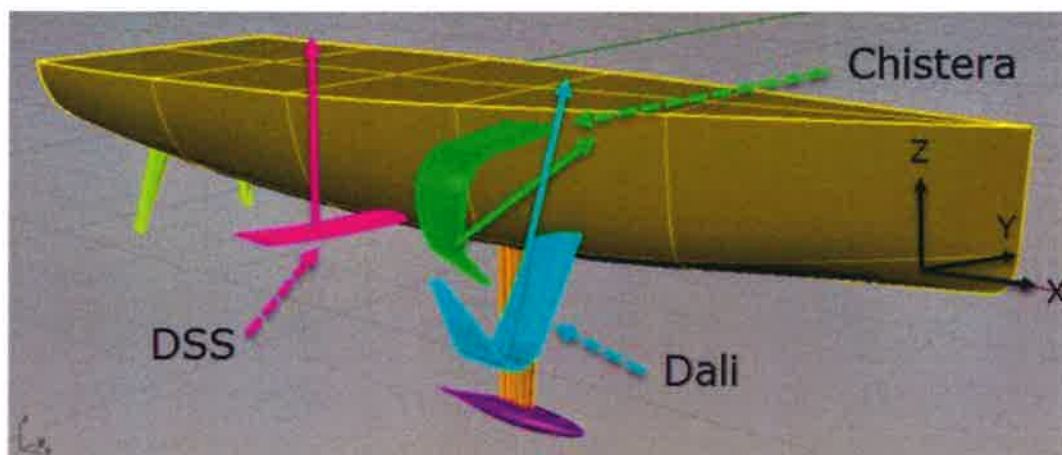
全ての Flying HeadSail と Asym.Spin の SHW/SFL<0.85 は、セールインベントリーに記載されなければならない。

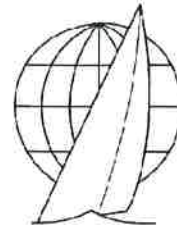
ORCmultihull マルチハルレーティング ORCmhが正式にスタートする。

Offshore multihull Association(OMA)、Sailing Yacht Research Foundation (SYRF) 、KND SailingPerformance 、などと共同開発
レーザーを使ったフリーボード計測、PCS 計算アプリ(気象情報や GPS ポジションを自動で取り入れる)など新しい技術が導入される。

今年の VPP 変化は軽微な模様

SYRF などとの連携でフォイリングボートの研究を行っている。





ORC 計測員講習会 開催の予告

ORC

World leader in Rating Technology

今年度は ORC 計測員の講習会を開催いたします。

○開催予告

開催地としては 関東水域(京急マリーナ)では 3 月から 4 月に開催し、更に 6 月に (新西宮マリーナ)での開催を目指しています。

○ORCI 計測員

ORC の計測員は 他のレーティングシステムと比べても そのレベルは高く、技術的にも難しいものがあります。希望者と 息長く付き合いながら ERS や IMS のレーティングについて 習熟し、取り扱いをマスターして、2-3 年をかけて 養成していきます。

○ORCC 計測員

また 同時に ORCC のみを計測できる 計測員の要請も目指します。ORCI ほど 計測項目も多くなくて、習熟が容易です。また ORCC の取得希望者に 同時に 計測を指導することもできます。

○開催通知

添付の参加申し込み書をお送り頂いた方に 個別に 開催地や集合時間、場所等を ご連絡いたします。ORC 計測員の養成に関心のある方のご参加を お待ちしております。

1. 日時:2020年 3月末から4月 (関東)
6月頃 (関西)

2. 対象講習者

- ①JSAF の会員であること。
- ②計測員の資格取得に熱意のある方
- ③できるだけ若い方の参加を希望します。

3. 受講料

10, 000円(受講費用)

配布資料

- ①IMS,ORC 関連資料を配布します。
- ②ORC 計測証書の申請手続き、計測についての資料、
- ③メジャメントマニュアル、エディター配布、
- ④ORC スコアリングシステム配布

4. 持参品

- ①各自 ラップトップをご持参ください。

記入申告ソフトをダウンロードして 実習を行いますので、必ず ご持参ください。また 傾斜試験に使うソフトも ダウンロードします。

- ②計測道具は ORC 委員会で準備します。

5. 申込は ORC 委員会に 添付「申込書」に記入の上、
お申し込みください。

申込先 yutakayoshidac@aol.com

ORC けいそく員 講習会 参加申込書



ORC

World leader in Rating Technology

ORC計測講習会	出席致します。
講習について 希望や連絡事項等	

お名前	
所属	
連絡先(携帯)	
住所	
メールアドレス	